



津幡町ゼロカーボンシティ宣言

津幡町は加賀、能登、越中の三国を結ぶ交通の要衝として栄えてきた歴史に加え、県森林公園や河北潟に代表される豊かな自然環境と、快適で便利な都市環境が共存・調和したまちであり、この環境は末永く後世に引き継いでいかなければなりません。

しかし、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、近年、世界各地で大規模な自然災害が発生しており、全ての生物の生存基盤を揺るがす極めて深刻な問題となっております。

2015年に採択されたパリ協定では、世界的な平均気温の上昇を産業革命以前に比べ1.5℃に抑える努力を追求することとされ、2018年に公表された IPCC「国連の気候変動に関する政府間パネル」の特別報告書においては、この目標の達成には2050年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

これらの目標の達成に向け、我が国においても、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボン・ニュートラル」を目指し、2030年度における温室効果ガスの削減目標を2013年度比で46%減とする目標を掲げたところです。

このような状況をふまえ、豊かな自然と人との共生するかけがえのない「ふるさと つばた」を将来の世代へ継承していくため、2050年までに津幡町全体の二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、町民、事業者、行政が一丸となって力強く取り組んでいくことを宣言いたします。

2022年6月6日
津幡町長

矢田高郎